

令和元年度技術力維持・向上対策研修(実践研修) 中部ブロック研修の実施について

林野庁では、市町村森林整備計画の策定等市町村への指導・助言の役割を担うべき森林総合監理士等の継続教育を目的として、地域の森林・林業の再生、成長産業化に向けた課題をテーマに、現地検討及び討議を通じて現場レベルでの課題解決策を共有する研修として、全国7ブロックで実施しています。

中部ブロックでは9月18日から20日の3日間、岐阜県中津川市において、「伐採・造林一貫作業システム(架線+路網)と木材流通」をテーマに、県職員13名、国有林職員5名の18名が参加し実施しました。

伐期を迎えた林分の主伐を計画する上で、林地の状況等に応じた搬出方法の選択、低コスト造林や市場のニーズを踏まえた採材方法等について、課題解決の向上、実践的な指導・助言ができる技術者の育成を図ることとして、国有林の主伐事業地等を活用した現地検討・意見交換を実施し、研修会場にて発表・討議を行いました。

【1日目】開講式、「伐採・造林一貫作業システム」、「採材・仕分け」の講義の後、検討図面等により、机上による伐採計画の演習、現地確認箇所の踏査準備を行いました。



開講式
(中部森林管理局 川戸森林整備部長挨拶)



研修の状況
(中津川市にぎわいプラザ)



採材・仕分けについて
(資源活用課 大坪企画官の講義)



伐採計画の演習について
(資源活用課 佐々木企画官の講義)

【2日目】中津川市において、製品生産予定現場(湯舟沢国有林)、コンテナ苗生産地(中津樹苗)及び木材市場(木曽官材市売協同組合 坂下事務所)で現地検討の後、研修会場の中津川市にぎわいプラザに戻り発表準備を行いました。



現地概況説明
(東濃森林管理署 稲垣森林技術指導官の説明)



伐採予定地の踏査



ヒノキコンテナ苗の生産
(中津樹苗 山本氏の講義)



苗畑

【3日目】前日に続き中津川市にぎわいプラザにおいて発表準備を行った後、作業システム・搬出方法、造林作業の省力化、採材・流通等について計画の発表・ディスカッションを行いました。



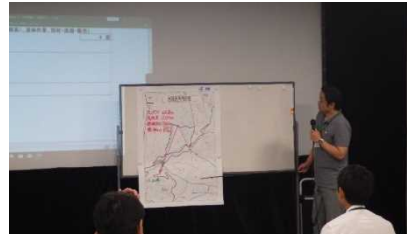
1班の発表



2班の発表



3班の発表



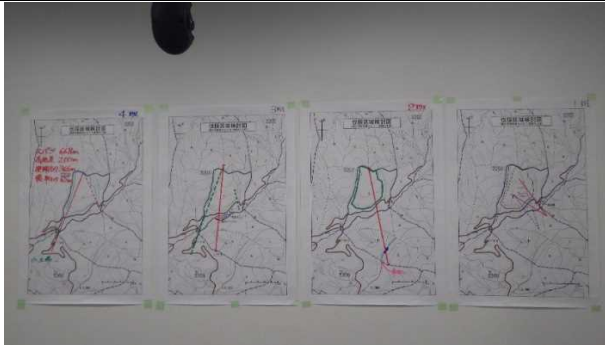
4班の発表



発表に対する質問



講評



各班の搬出計画



閉講式
(森林技術・支援センター 相澤所長)

集合写真



受講生へのアンケート結果（抜粋）

- 架線集材の実務経験がある方々にご指導いただき勉強になった。
- 主伐・再造林で国や他県の状況を聞くことができ、よかった。
- 各班に付いた講師の指導があり、よかった。
- 各分野からの講師に満足。
- 1事例でも具体的な検討を行えたので、解りやすかった。
- 伐区全体を踏査できる時間が欲しかった。
- 架線作業のトータルコスト試算の入れていただきたかった。